

2026年9月15日

川崎重工業株式会社

株式会社神戸製鋼所

液化水素運搬船向け燃料ガス供給用油冷式スクリュ圧縮機の供給契約を締結

川崎重工業株式会社(以下、川崎重工)及び株式会社神戸製鋼所(以下、神戸製鋼)は、40,000m³型液化水素運搬船※²(以下、本船)向けの燃料ガス供給用油冷式スクリュ圧縮機(以下、本圧縮機)の供給契約をこのほど締結しました。

本船は、日本水素エネルギー株式会社が事業主体として推進する、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のグリーンイノベーション基金事業※¹「液化水素サプライチェーンの商用化実証」において、川崎重工が建造する世界最大の液化水素運搬船となります。また、推進機関には従来型の油を燃料とする発電機エンジンに加えて、水素、及び油を燃料とする発電用二元燃料発電機エンジン※³を搭載した電気推進システムを採用しています。

本圧縮機は、その発電用二元燃料発電機エンジンへの水素ガス供給システムにおいて使用され、高い信頼性、負荷変動への高い追従性、高性能油分離システム等の特長を備えています。また、液化水素用貨物タンクから発生するボイルオフガス(BOG)を本圧縮機で昇圧することで船舶の発電用燃料として有効利用でき、液化水素輸送時の二酸化炭素排出削減に寄与します。



契約調印式の模様

左	川崎重工	執行役員 エネルギーソリューション&マリンカンパニー 船舶海洋ディビジョン長 荻野 剛正
右	神戸製鋼	執行役員 機械事業部門長 猿丸 正悟



参考:40,000m³型液化水素運搬船(イメージ)

川崎重工と神戸製鋼は、液化水素運搬船の建造を通じて、液化水素サプライチェーン構築の商用化実証に貢献するとともに、2030 年以降の国際的な液化水素サプライチェーンの構築と、カーボンニュートラル社会の実現に向けて取り組んでまいります。

※1 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のグリーンイノベーション基金事業

<https://green-innovation.nedo.go.jp/project/hydrogen-supply-chain/>

※2 世界最大となる 40,000m³型液化水素運搬船の造船契約を締結 ～商用規模の液化水素サプライチェーン構築に向けて～

[news_260106-1.pdf](#)

※3 二元燃料発電機エンジン

NEDO のグリーンイノベーション基金事業「次世代船舶の開発/水素燃料船の開発/舶用水素エンジンおよび MHFS の開発」にて開発する、二元燃料発電機エンジンのこと。液化水素タンクから自然発生するボイルオフガス及び油燃料を自由に切り替えることが可能です。

以上